



ら ぶ っ く
La・BOOK

8月号

No.98

**図書館フェスタが
中止となりました**



毎年9月に図書館フェスタを開催してまいりましたが、令和2年度につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止を決定いたしました。楽しみにしていただいていた皆様には、誠に申し訳ございません。

なお、例年ご好評をいただいております、「図書リサイクルコーナー」については、期日を変更し開催を計画しております。詳細は、後日お知らせいたしますので、ご利用をお願いいたします。

**安曇野市図書館協議会の委員を
ご紹介します**

令和2年度の改選により、下記の皆様が選任されました。

(任期:令和2年7月1日～令和4年6月30日)

(敬称略)

氏名	所属等	氏名	所属等
はまの びさし 濱野 久	学校教育 の関係者	すずき けんいち 鈴木 研一	学識経験 者
はつがや ひろこ 初谷 大子	社会教育 の関係者	おにつか ちはる 鬼塚 千春	学校教育 の関係者
たもり あきこ 田守 明子	社会教育 の関係者	おがさわら のりあき 小笠原 教明	学識経験 者
ふるかわ まさあき 古川 政明	家庭教育の向 上に資する活 動を行うもの	ふくだ みや 福田 美弥	学識経験 者
ひぐち かいち 樋口 嘉一	学識経験 者	すずき けんじ 鈴木 健司	学識経験 者
おだ ともしも 小田 登茂子	学識経験 者	くろさわ さとし 黒澤 哲	学識経験 者

*図書館協議会は、市が行う図書館サービスについて提案などをする会議です。

三郷図書館

奮闘!?調べもの日記(レファレンス)

「ゆりのき」のこと

6月9日の市民タイムスに、三郷交流学習センター南側にあるユリノキ(モクレン科)の花が紹介されました。その記事を読まれた何人かの方が、図書館を訪ねてこられて、記事にあったユリノキの位置や由来を尋ねられました。

ユリノキの花は、5月の初めに紡錘状の蕾ができだんだんと膨らみます。やがて固いがくが三方に割れ、その中から花卉が伸び淡いオレンジ色を帯び、どこか日本の花とは異なった夢のような色彩を漂わせます。



このユリノキですが、原産は北アメリカであり、明治の末に地元出身の林学者白沢保美博士が留学先のドイツから持ち帰ったものを寄贈されたもので、ヒマラヤシュレーダーとともに温明小学校の開校記念樹となっています。

三郷交流学習センター「ゆりのき」の名前は、このユリノキが由来となっています。そして今、学習センターの前には3本の若いユリノキが育っています。来館の折には、合わせてごらんください。



関係資料

『三郷文化』三郷村教育委員会・郷土研究会 1983年夏

『温明小学校 閉校記念誌』三郷村立三郷小学校 1970年

読みたい本を探して読む。この幸せを叶えてくれる。いつも親切な職員の方々に感謝している。



私の本の探し方
百瀬 恵(豊科)

山の好きな人は一つの山へ登ると、そこから見える山へ次に登ろうと思ふと聞く。

私の場合、本がそれに当てはまる。一冊読むと次に読みたい本が出てくる。著者の別作品だったり、参考文献だったり、同じ出版社で別の著者の本だったり……。

それらを探す強力なサポーターがインターネットの蔵書検索である。期待せずに入力すると2/3の確率で本がある。内容の要約と写真まで見れる。近くの本館の蔵書でない場合、取り寄せまでもしてくれる。最初とても感動した。このお陰で、最初に入力した目的の本以外に、読みたい本が芽ぶる式に出ている。

私と図書館

7月予約ランキング

一般書

- 少年と犬／馳星周
- 女帝小池百合子／石井妙子
- カケラ／湊かなえ
- きたきた捕物帖／宮部みゆき
- ヒポクラテスの試練／中山七里
- 流浪の月／凧良ゆう
- あづみ野穂高の民話／安曇野児童文学会
- 気がつけば、終着駅／佐藤愛子
- 任侠シネマ／今野敏
- クスノキの番人／東野圭吾



児童書

- ポップデ ァップ 又仕事・職業 1／ポプラ社
- ポップデ ァップ 又仕事・職業 2／ポプラ社
- ポップデ ァップ 又仕事・職業 3／ポプラ社
- いつつごうさぎのきっさてん／まつおりかこ
- 今、空に翼広げて／山本悦子
- きみの存在を意識する／梨屋アリエ
- 十年屋 4 ときどき謎解きいたします／廣嶋玲子
- トクベツな日／白矢三恵
- なぜ僕らは働くのか／池上彰
- ふしぎ駄菓子屋銭天堂 13 熱帯焼き／廣嶋玲子

AV 資料

- POP VIRUS／星野源
- 海のOh, Yeah!!
／サザンオールスターズ
- きみが欲しい～サティ名曲集
／エリック・サティ

中央図書館から

本のソムリエ(司書)おすすめ本

一般書

『旅の終わりに』

マイケル・ザドゥリアン／著
東京創元社

表紙

デトロイトに住む老夫婦がキャンピングカーで旅に出る。昔は子供たちと一緒に賑やかに慌ただしく走ったものだ。

今回は二人静かにゆっくりとなにしる運転席には認知症のジ

ョン。助手席には、この物語の語り役、末期ガンのエラ。毎日、事件が起こるけれど、もはや二人に怖いものはない。家族の思い出をたどり、愛を確かめながら、ルート66でカリフォルニアを目指す。翻訳者は長野県在住の小梨直。

児童

『ハーブをたのしむ絵本』

大野八生／作 あすなろ書房

表紙

おばあちゃんと女の子がお庭のハーブの手入れをしています。お料理に使ったりハーブティーにしたり、ポップリを作ったり…。

こんなお庭だったら一日中過ごしていたいと思わせてくれる素敵なイラストがいっぱい。育て方の基本から活用法まで47種類のハーブが紹介された、大人も楽しめる入門絵本。

芥川賞直木賞 受賞おめでとうございます！

芥川 龍之介 賞 高山 羽根子「首里の馬」

遠野 遥「破局」

直木 三十五 賞 馳 星周「少年と犬」



表紙

表紙

表紙

編集・発行・お問い合わせ



中央図書館 ☎84-0111
豊科図書館 ☎71-4022
三郷図書館 ☎76-3078
堀金図書館 ☎72-3601
明科図書館 ☎62-1122

図書館ホームページ（蔵書・資料の検索もできます）
<http://www.city.azumino.nagano.jp/site/tosho>

がでしょうか。い本と出合う、というのはいか



※編集後記※
今年の夏は、計画がなかなか立てにくいかも思いますが、楽しい思い出作りをいろいろ考えていることと思います。
海や山で自然を満喫、温泉に入り慌ただしい日常から離れのんびりと、たまには贅沢をして美味しいものを食べに行こう、なども良いですが、図書館で新しい本と出合う、というのはいか